



なかよし集会で「NO! コロナハラスメント」

新型コロナウイルス感染症のまん延は、病気としての問題だけでなく、この病気が感染症であることから、社会不安を増大させ、感染者、医療従事者だけでなく、その家族や近隣の人々に対しても不当な差別やいじめなどの人権侵害が増大するという大きな問題を生んでいます。恐れるべきは人ではなく、ウイルスです。病気を理由に人を差別したり、職業等でレッテルを貼り排除したりすることは「コロナハラスメント」と呼ばれており、許されるものではありません。

本校では10月2日(金)になかよし集会を行い、コロナハラスメントについて、全校児童に考えてもらう機会をもちました。5校時は1～3年生、6校時は4～6年生が体育館に集まり、①担当者である串間先生からの話、②児童会メンバーによる寸劇、③校長からの話と、合わせて15分程度の短い集会の後、教室に戻って話し合うというものです。特に児童会メンバーの寸劇が分かりやすかったので、子どもたちには「NO! コロナハラスメント」の意味がよく伝わったのではないかと考えています。



「香川県 NO! コロナハラスメント」で検索↓



香川県では、「NO! コロナハラスメント ～正しい情報をもとに冷静な行動を～」啓発キャンペーンを実施しています。本校もこのキャンペーンに参加することにして、児童会がメッセージ動画を作成しました。香川県のホームページ(<https://www.pref.kagawa.lg.jp/>)に動画が公開されていますので、ぜひご覧ください!(本校が県内の学校の中では一番最初に投稿したようです。)

1年生がはじめての校外学習(遠足)を満喫しました

秋晴れの10月6日(火)、柞田小学校ではトップを切って1年生が、さぬき子どもの国へ遠足に出かけました。遠足は、普段と異なる環境の中で見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳について望ましい体験を積むために行うものです。バスが出発するときの子どもたちのうれしそうな表情も印象的でしたが、学校に戻り、バスから降りてきたときの満面の笑みが、言葉に出さなくても「楽しい1日が過ごせたよ」という最高の報告でした。



(2、3年生の遠足及び4年生の洋上学習については次回の天王丘で紹介します。)

柞田小学校の宝もの

10月6日(火)、丸亀のPikaraスタジアムで三観地区陸上競技記録会が開かれ、参加標準記録を突破した5、6年生47名が記録会に出場しました。80mハードルや100mに出場した他校の選手は、走り終わった後、そのまま引き揚げていましたが、本校の児童だけがグラウンドに深々とお辞儀をしていました。素晴らしい柞田っ子の姿を見て、胸に熱いものがこみ上げてきました。

